

東日本高速道路(株)関東支社の台風15号,19号,10/25低気圧における対応

NEXCO

a. 9月8日 台風15号

- 強風は、アクアライン橋梁部で**平均風速39m/s**を記録、千葉マダガス29.2m/s（最大瞬間風速53m/s）と、神奈川県、千葉県、茨城県に渡り広範に被害を受けた。
- 最も大きな被害は、東関道、圏央道、京葉道、館山道等千葉県内を中心に、**枝葉散乱、倒木、飛来物により、清掃・除去作業**に時間を要した。
- 成田国際空港と首都圏のアクセス確保として、圏央道ルートを先行して確保。
- 16日に及ぶ停電対応による、自家発電設備の24時間体制の維持管理を実施。

b. 10月12日 台風19号

- 群馬県碓氷軽井沢付近で、過去最大級の**連続雨量550mm**（時間雨量57mm）を記録
- 台風15号の経験を踏まえ、**事前通行止め1,200km**を実施。（連続雨量による通行止めを含め1,400kmに及び、一時的に関東支社管内ほぼすべての路線が通行止めとなった。）
- **成田国際空港におけるBCP総合対策本部会議にアクセス事業者として参加し、連携強化を図った。**
- 北関東および長野県東部への豪雨により、那珂川支流の河川氾濫により、**水戸北スマートIC**、千曲川支流の河川氾濫により、**小布施スマートIC**が水没。
- 小布施スマートICは11/29に、水戸北スマートICは12/2に機械の交換を行い、運用再開した。
- 上信越道（碓氷軽井沢～佐久IC間）では盛土の変状を確認し、応急復旧工事により対面通行を実施。（継続中）

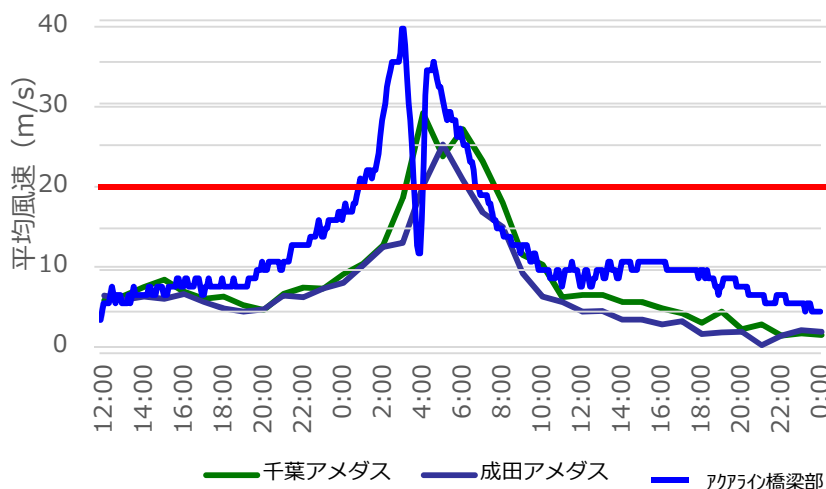
c. 10月25日 低気圧による千葉・茨城豪雨

- 千葉県市原市で、**時間雨量101mm**（連続雨量343mm）の集中豪雨を記録。
- 圏央道、東関道、常磐道で約20か所の法面崩落等が発生。

a. 台風15号による被害状況

- 強風の状況：アクアライン橋梁部平均風速の**最大値は39m/s**を記録
アメダスの数値 千葉 29.2m/s'（瞬間最大53m/s）,成田 25.3m/s

- 枝葉の散乱、倒木、飛来物、路面冠水が多数に及び清掃作業に長時間を要した



※ここで示すアメダス風速値は、10分間平均風速を時間最大値で示したもの

- 枝葉の散乱と倒木



- 飛来物（民家の屋根）



- 路面冠水



a. 成田国際空港への首都圏ルートへの確保、停電対応

NEXCO

- 東関東道の強風による影響が広範囲に渡り、枝葉散乱、倒木、路面冠水、飛来物の処理、車両横転など事故対応により、5時45分通行止め開始から22時10分解除まで時間を要した
- 影響範囲が限定的だった
圏央道を迂回ルートに設定し、16時45分先行して解除した
 人力除去作業



散水車による清掃作業



発電機への給油状況



- 電力会社からの電源供給停止により、**千葉県内58箇所の料金所、休憩施設、トンネル等において停電が発生**
 自家発電設備を24時間体制で維持管理し、稼働**（最大継続時間370時間）**
 自家発電設備バックアップ体制により、定期的な残油量、設備稼働状況の確認と燃料補給を継続実施

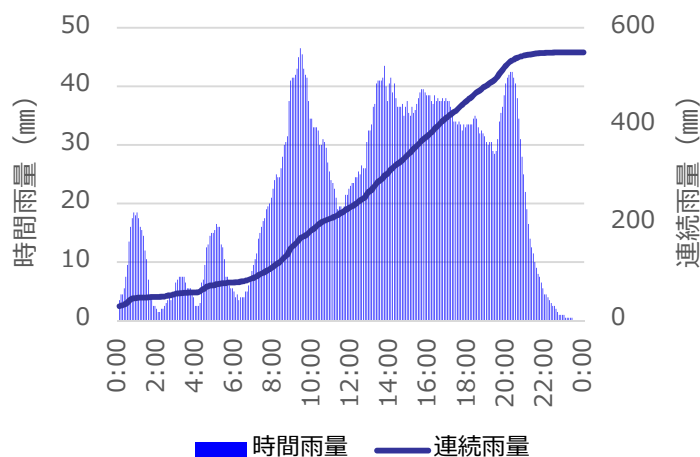
仮設発電機によるバックアップ状況



b. 台風19号の事前通行止め、成田国際空港BCP、復旧支援活動

NEXCO

- 事前通行止め広報
『12日16時頃から
通行止めの可能性有り』
を24時間前から実施
- 12日16時から降雨による
通行止め区間を除き、
1,200kmに及ぶ関東支社管内ほぼ全線に
渡り事前通行止めを実施
- 翌13日6時から東関東道（成田国際空港アケス）
を首都高と連携し解除。順次、外環道、
縦貫道を解除した
- 成田国際空港のBCP総合対策本部会議へ
社員を派遣し、連携を図った



- 群馬県碓氷軽井沢IC付近で、
過去最大級の連続雨量550mm
（時間雨量57mm）を記録
- 水戸市内の復旧支援活動
散水車などによる国道路面
の清掃活動を実施



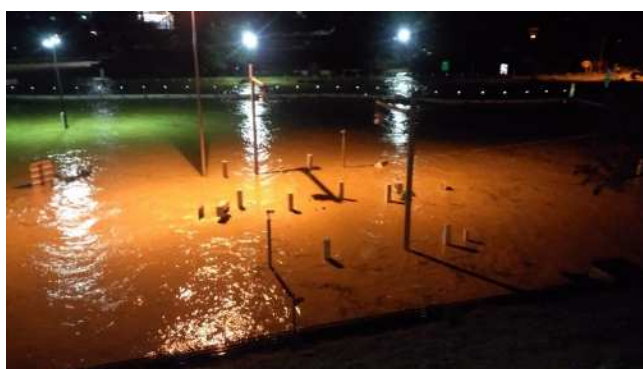
b. 台風19号による被害状況

- 常磐道 水戸北スマートIC



⇒ 12/2 運用再開

- 上信越道 小布施スマートIC



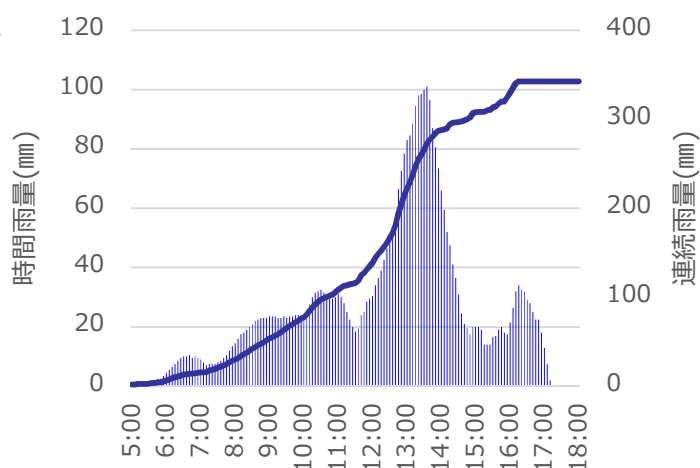
⇒ 11/29 運用再開

- 上信越道 香坂川橋地区盛土変状



c. 10/25低気圧による千葉、茨城豪雨による被害状況

- 台風21号から変わった低気圧により、千葉県市原市で時間雨量 101mm (連続雨量342.5mm) の豪雨を記録
- 集中豪雨により、圏央道、東関道でのり面崩落が20か所に渡り発生した



圏央道 茂原長南～市原鶴舞



圏央道 茂原北～茂原長南



東関道 酒々井IC



東関道 銚田～茨城空港北



- 隣接地の流末排水が集中し、のり面崩壊している箇所が多く発生している。